

六
られ労働は苦痛に變じてゐるのであるが、國有若くは共有であつた昔の鑛山に於ては坑夫は人間として充分に待遇せられ労働を好む人間本來の性質は充分に發達を遂げてゐたのである。

昔、金山奉行は國有鑛山で労働する坑夫を野武士として待遇してゐた。共有制度の鑛山に労働する坑夫も又是に準ずる取扱を受けられてゐたのである。徳川幕府は鑛國政策を採用して海外との交通を絶ち日本文明の進歩を害したことは大きいが、他方に於て生産者を充分に尊敬し保護する政策を採つてゐたのである。幕府は米穀の生産者たる農民を尊重すると同じく鑛山労働者にも特別の保護をなし生産者たる名譽と權利とを與へたのである。

昔の坑夫は暗れ々々しい心持でセツトリーやタガネを振つてゐたのである。愉快なる労働！これが昔の坑夫の生命であつた。彼等は自治を樂んでゐた。彼等は切實なる相互扶助の感情に富んで相互の信義を重んじた。今日も残つてゐる大當市、奉

願帳、浪人などの美しい制度は昔の坑夫の自治や相互扶助の民主的精神から湧き出でたものだ。かゝる制度は明治になつてから發達した都市工業労働者の夢にも知らぬ處である。

つまり我國の坑夫は六七十年前までは非常に愉快な生活をしてゐたのだ。其時代には坑夫の労働を揶揄するものが居なかつた。彼等は充分に生産者たる名譽と尊敬とを得て労働を樂んだ。自治と相互扶助とが彼等の社會制度の基礎であつた。勇氣と信義と労働とが彼等の理想であつた。

私は昔の坑夫の生活のよかつたことを感せず居られない。私等の理想とする生産者の權利の充分認識せらるゝ道義的社會は實に昔の坑夫の社會生活に其輪廓を見ることが出来るのである。

三 昔の採鑛設備は不完全であつた